

2019年春学期FDミーティング 議事録

日時 2019年6月26日(水) 12時40分～13時20分

場所 2号館13階大会議室

出席者 常勤教員 33名

非常勤教員 1名

配布物 FDミーティング資料(総合アンケート記述一覧)
個別授業アンケート評価表別途配布

議事

FD委員長より、前学期の成績分布につき各教員に配慮いただいたことについて謝辞があり、その後総合アンケート中気になるコメント個別に参照の上気づいた点について忌憚なく意見を述べていただきたい旨のコメントあり。

その後、FD委員長より、特に春学期アンケートにおいて特徴的に感じられたコメントとして、レジュメの使い方とアウトプット(答案練習)についての要望が増えていることが指摘された。

ミーティング前半においては、レジュメに最近の改正や判例、実務上の問題点などを盛り込んでいる事例と、基本的論点や典型的事案に絞り込んでレジュメに沿った授業をしている事例それぞれについて、担当の教員から実情が報告された。授業の特性によって、必要となる情報はことなるが、学生の習熟度が上がるよう、各々の授業において応用可能な部分を取り込むことが期待される。

後半においては、学生が書く作業を増やしてほしいと要望していたことをも反映して、制度化されている中間試験について、各教員からの感触の聞き取りが行われた。論文形式で書きやすいように、小問で誘導するほか、出題する論点について事前にちょうど同じ論点の展開の仕方などを示して置くことで、比較的「型」に沿った答案が書けるのではないかという示唆があり、また、1年生については文書作成の強化によって論述力が上がっている可能性があるという指摘があった。特に2年生については、書ける学生と書けない学生の二極分化が著しいという指摘、および中間テストは学生に論述力についての危機感を持ってもらうための試みであるから、なるべく早期に学生に実情が伝わるようなスケジューリングが望ましいという意見が示された。

以上